

訂正のお知らせ

PHARM TECH JAPAN2023年3月号において誤りがございましたので、以下の通り訂正させていただきます。

頁	誤	正
P135	図2を見ると、日本企業の偽造品はどの業界においても中国で生産されるものがほとんどである ²⁾ 。一方、販売地域は業界ごとに異なり、医薬品は中国での販売が確認されている。	図2に示す経産省の報告 ²⁾ によると、日本企業の偽造品はどの業界においても中国で生産されるものがほとんどだといわれている。
p136	当社が実施したインタビューによると、～が偽造品ターゲットになりやすい傾向があった(図3)。	当社が実施したインタビューに基づき、～が偽造品ターゲットになりやすい傾向があるのでは、という仮説を持っている(図3)。
p136 図4	偽造品課題の出やすい地域、サプライチェーン	各地域における偽造品課題についてのヒアリング結果
p136 図4	C社	B社
p136 図4	〔記号の説明を追加〕	偽造品の混入する可能性が高いと認識：◎、可能性がある：○、可能性は低い：△、可能性は極めて低い：×
p137	偽造品が非常に不衛生な環境で製造されることで、健康被害が発生する	偽造品が不衛生な環境で製造される ³⁾ ことで、健康被害が発生する可能性がある
p142	偽造品により、サプライチェーン上流でのひどい労働環境や～	厚生省の報告 ⁴⁾ にある通り、偽造品によりサプライチェーン上流でのひどい労働環境や～
p142	〔参考文献を追加〕	3) 猪狩康孝：厚生労働省：第1回偽造医薬品・指定薬物対策推進会議資料「偽造医薬品への取組―製薬企業の立場から―」, 3, 2014(https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000043359_1.pdf)
p142	〔参考文献を追加〕	4) 経済産業省製造産業局模倣品対策室：模倣品対策とSDGs, 6, 2019年8月(https://www.jpo.go.jp/support/ipr/document/index/sdgs.pdf)